

対馬暖流は蛇行しながら北上 対馬暖流の流量は平年並み 今後の沿岸水温はさらに高めで推移

2025年7月23日～29日にかけて実施した日本海定期観測の結果をお知らせします。

対馬暖流は奥尻島の西方沖を北上し、奥尻島の南で流れを東向きに変えた後、奥尻島の東側を通過しています。そして、積丹半島沖に接近した後、北海道本島寄り北上するルートをとっています（図c）。

対馬暖流の北上流量は約1.2 Sv（1 Sv=10⁶ m³/s）で平年並みとなっています（6月流量の平年値は1.2 Sv）。50 m深水温は5～18℃で、道南の沖合の海域では平年並み、岩内湾以西の海域では平年よりも約1～4℃高くなっています（図a,b）。

7月下旬の余市前浜水温は「非常に高い」となり（※1）、向こう1ヶ月の気温の予報も平年よりも高くなる確率が高くなっていますので（※2）、今後、沿岸水温は平年より高く推移する見込みです。

※1 余市前浜水温：<https://www.hro.or.jp/fisheries/research/central/section/kankyuu/suion/2025.html>

※2 気象庁HPより1ヶ月予報：<https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfcst/kaisetsu/?region=010100&term=P1M>



余市前浜水温 気象庁1ヶ月予報

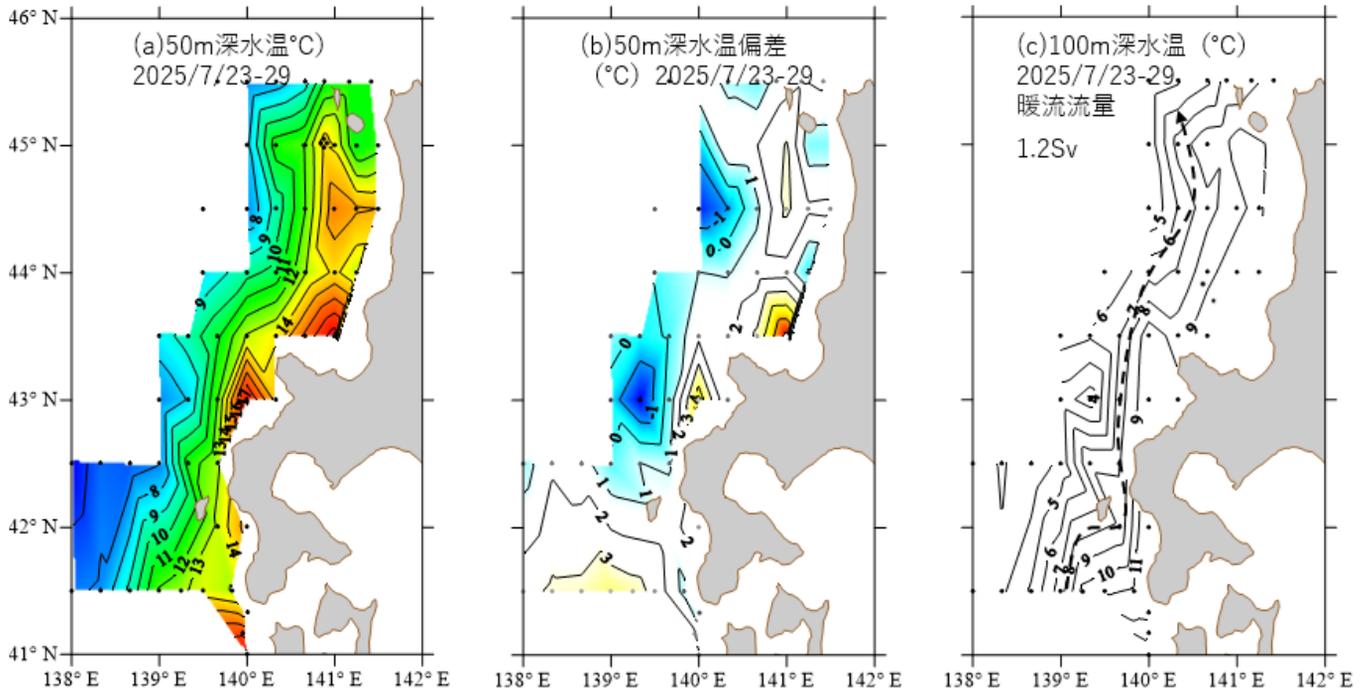


図 2025年7月下旬における (a) 50m深水温 (b) 50m深水温偏差の水平分布、(c) 100m深水温の水平分布と対馬暖流の流路（矢印）。水温偏差は過去30年（1989年～2018年）の平均値から算出。流量の単位はSv（=1×10⁶m³/s）。